

年 組 名前:

県人口減 79万5544人

23年度自然減 社会増上回る

県が21日公表した2023年度常住人口調査結果報告書(年報)によると、23年10月1日現在の人口は79万5544人で前年に比べ、6076人(0.76%)減った。02年以降、22年連続で減少。識者は3年連続の社会増となった一方で、自然減の幅が拡大したことが影響したとみている。

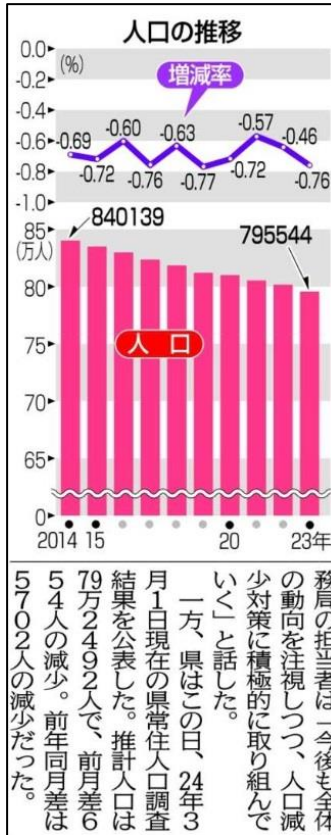
〈小池直輝〉

県統計調査課によると、22年度は569人の増加で、3年連続の増加となった。22年度の年報と比べると、自然減の幅は819人(14.1%)拡大し、社会増の幅は1539人(73.0%)縮小した。

山梨大の菊地淑人准教授(地域計画)は「自然減に歯止めをかけるのが重要」と話した。

県人口減少危機対策本部事務局の担当者は「今後も全体の動向を注視しつつ、人口減少対策に積極的に取り組んでいく」と話した。

一方、県はこの日、24年3月1日現在の常住人口調査結果を公表した。推計人口は79万2492人で、前月差654人の減少。前年同月差は5702人の減少だった。



(2024年3月22日付 山梨日日新聞 20面)

問1

2023年度常住人口調査結果報告書(年報)が、公表されました。23年10月1日現在の人口と、前年の人口を教えてください。

・23年10月1日現在:人 ・22年10月1日現在:人

問2

自然増減と社会増減とは、なにを比較した増減のことですか。

・自然増減: と の比較

・社会増減: と の比較

問3

山梨県の人口は、22年連続で減少しています。人口を増やすには、なにをしていけばよいとあなたは、考えますか。

.....
.....